

高齢者移動支援モデル事業（つれだし隊）活動報告

1. 背景・経緯

全国的に、高齢化や核家族化の進行に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加している。また、歩行困難等の理由により外出を控え、自宅にこもりがちになる高齢者も増えている。このような高齢者の移動（外出）を支援し、地域や社会とのつながりを創出することは、フレイル（＝虚弱状態）の予防に大きな効果をもたらす。

本市において、高齢者の移動支援の具体化を図るため、令和6年10月に有償ボランティア「つれだし隊」を結成し、買い物付添い支援の実証実験を実施した。その結果、一定のニーズを把握するとともに、持続可能な運営の見通しが得られたことから、令和7年10月より本格導入（社会実装）するに至った。

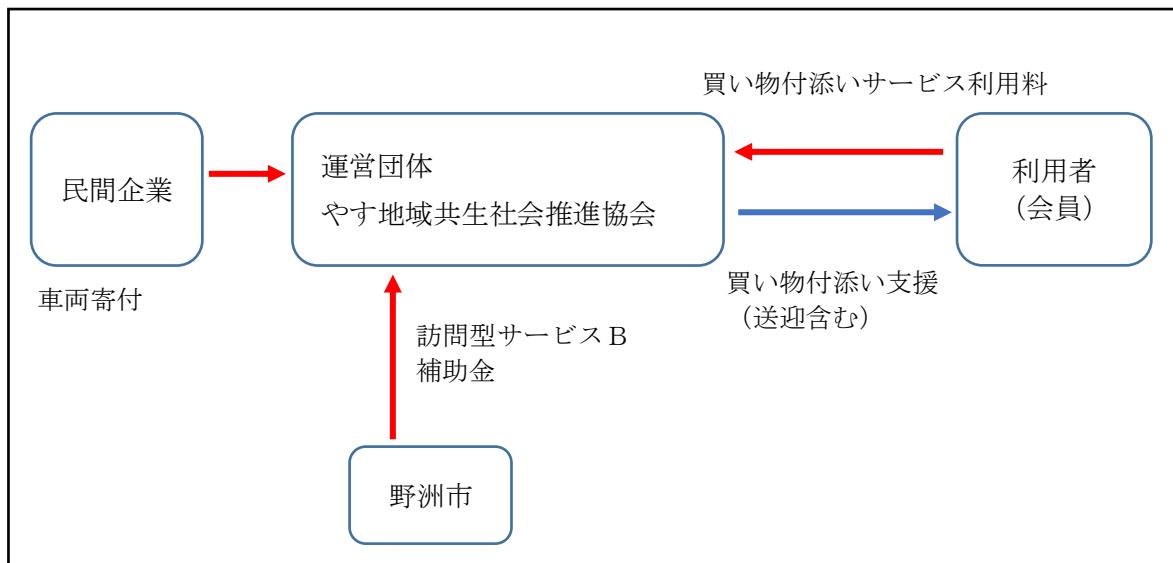
事業内容：買い物付添い支援サービス（介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービスBとして実施）

実施団体：（一社）やす地域共生社会推進協会

料金等：基本料金1時間700円、登録制（チケットを事前購入）

対象者：通所介護施設共同送迎の利用者、介護予防・日常生活支援総合事業の対象者及び、怪我や疾病等によりこれらと同程度の状態にある者

2. 事業の実施体制

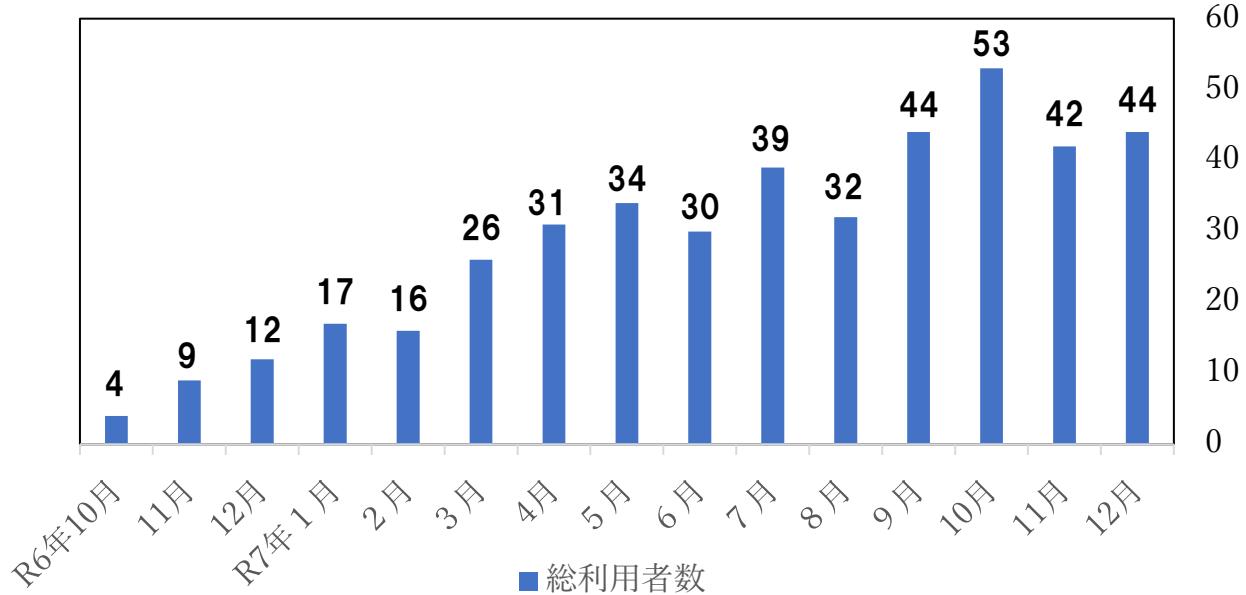


運営団体の（一社）やす地域共生社会推進協会が利用者の受付から運行までを担っている。

野洲市は運営団体に対し介護予防・生活支援サービス事業の補助金を交付している。

3. 実績、成果

(1) 実績



令和6年10月から活動日を毎週木曜日に設定

令和7年8月下旬から火曜日を追加し週2回実施に

(2) 成果

店内を歩き回ることで介護予防活動に

買い物先で出会った仲間との会話、新しい居場所

ボランティアの生きがい、やりがいの創出（参加しやすいボランティア）



4. 今後について

時間や曜日、行き先の再検討

公共交通との棲み分け